

強い経済で、 優しい社会を。

「強い経済」は目的ではありません。国民の皆さん一人ひとりの安心と豊かさを実現するための手段です。

「賃上げ」は道半ば

ここ数年で、日本経済は大きく変化しました。経済活動がしっかりとしてきたことから、付加価値を創り出すことや、働く人への投資が正當に評価される環境が整いつつあります。しかし、賃上げに関しては、まだまだ十分ではありません。

私は「物価が上がったから、賃金を上げる」のではなく、働いた人に正しく報いるために賃金を上げるべきだと考えています。したがって「物価とは上がらないもの」と思われていた10年以上前から「賃上げ」に取り組んできました。

日本は自由で民主的な国ですから、政府や

政治家が「賃金を上げる」と命令することは出来ません。それでも税制による後押しや適切な価格転嫁の促進、中小企業への支援など、賃上げ環境を整備するためにやるべきこと、やれることは沢山あります。新聞の見出しを飾るような派手さはありませんが、地味な積み重ねを続けていきます。

「強い経済」を

高市新政権は、成長力の強化と国力の底上げを柱とする新たな政策運営に取り組んでいます。この流れを着実なものとし、中小企業や地域経済を含めた日本経済全体の底上げ、すなわち「強い経済」へと確実に近づけていくことで、医療、介護、教育、子育ての支援、さらには将来世代への投資が可能となります。強い経済に裏打ちされた、子どもにも高齢の方にも優しい国。日本を作り上げていきます。

鶴見区・神奈川区の未来 — 成長を続ける町の挑戦 —

人口が増える町

我が国が少子高齢化と人口減少という深刻な課題に直面していることは、ご承知の通りです。しかし、鶴見区・神奈川区には当てはまりません。横浜市が公表した将来人口推計では、50年近く先の2070年の時点でも現在の人口を上回っているとされています。

これは非常に恵まれた状況です。私が地元の行事に参加した様子をSNSに投稿すると、多くの方がその数の多さと賑わいぶりに驚き、「うらやましい」「ウチも昔は…」と言われます。これは長い歴史によって培われた地域の絆の強さに加えて、人口が増えているからに他なりません。

「支える側」と 「支えられる側」

ただ、人口が増える、インフラの容量の問題が発生します。鉄道やバスの混雑や道路の渋滞、保育園や学童保育の不足、小中学校の教室の不足、医療機関（特に小児科や一次医療）の不足や待ち時間の増加などといった、他の地域ではもはや過去のものと思われる課題に取り組まねばなりません。

また、人口が増えることが高齢化を解決する訳ではありません。子育て世帯の転入が続くことで子どもが増えますが、高齢者も増えます。さらに「独居・夫婦のみ」

「子どもが近くに住んでいない」「地域とのつながりが希薄」などと言った都市型高齢化の問題も見逃ごす訳にはいきません。

つまり「支える側」と「支えられる側」という全体が増えることから、介護・福祉・教育・子育て支援などと言ったあらゆる面を同時に充実させる必要が生じます。

市県・国が 一体となった対応を

多くの自治体が「衰退への対応」に追われる中、鶴見区・神奈川区が直面しているのは「成長に伴う量と質の変化を、いかに適切に管理するか」という、より高度な都市経営の課題です。これは市だけ、県だけ、国だけで解決できるものではありません。

市は住民に最も近い立場として、医療介護・子育て、住宅を結びつけ、暮らしの中で実効性のある対応を進めます。県は医療圏や人材確保など広域的な調整を担います。私は国政の立場から制度と財源の整備に取り組みむとともに、地元の県議会・市議の皆さんと緊密に連携し、現場の声を迅速に政策へ反映させます。成長を負担にせず強みに変えることで、鶴見区・神奈川区をいつまでも住み良く活気に満ちた町にしたいと思っています。

昭和39年生まれ

- 東京大学法学部 卒業
- JPモルガン証券会社 取締役副社長
- 参議院選挙・神奈川選挙区（当選2期）
- 令和3年、令和6年衆議院選挙（当選2期）
- 自民党/副幹事長・財務金融部会長・法務部会長・政務調査会副会長
- 参議院/財政金融委員長
- 衆議院/決算行政監視委員会筆頭理事
財務金融委員会筆頭理事

●財務副大臣

〈趣味〉ランニング・水泳・トライアスロン（大会出場）
書道（伊勢神宮奉納書道展・神路山賞）
〈好きな言葉〉いつだって挑戦者
〈楽しみ〉孫と遊ぶこと
〈長所〉何事にも一生懸命
〈短所〉ときにやり過ぎる
〈家族〉妻・長女・次女・孫4人



WebSite



facebook



Youtube

詳しい
情報を
発信して
おります。



X (旧Twitter)



Instagram